

# 「3つの愛」で地域と向き合うボランティア

## 「けいはん医療生協見学学習会」に7人参加

長く休眠が続いていた「ボランティア委員会」が、再開にむけた取り組みが2019年の初めから始まりました。

まずは他の医療生協のボランティア活動を学ぶため、5月21日（火）けいはん医療生活協同組合（大阪府門真市）へ見学に行ってきた。

けいはん医療生活強雨同組合  
3あい運動推進委員会



### けいはん医療生協見学

（みいの郷）（あいちゃん）

【ボランティア委員会・兒島 清美】

へみいの郷へ

広大な団地近くの一角に医療関係の施設（診療所、介護事業所・デイケア・デイサービス等）が集中されており、地域まるごとケアの取り組みやボランティア活動の充実を実感しました。



けいはんのみなさんと交流をする、しが医療生協のみなさん



サービス付高齢者向け住宅「みいの郷」では、職員さんから説明

をうけたあと入居されている方の部屋を見学、参加者からは「こんな施設を将来つくりたいね」との感想が上がっていました。

へあいちゃんへ

出合い・ふれあい・支え合いを合言葉に、地域とのつながりを大切にずっと元気にこの街でくらししていく・・・に貢献されている。

### 見学学習会を終えて

\* 各種の取り組みについては、ミーティングを実施している。

\* 活動を持続化するためにバザーを開催（年2回）、残ったものについては次回に回したり地域の福祉事業所に寄付する。

\* 足（行動）と学習を積み重ねている。

\* 今回の見学の趣旨がボランティアでしたが、『施設見学会的なものになってしまったのでは...』との感もしますが「あいちゃん」の部分的な取り組みにふれ、ボランティアの交流も良かったのではないのでしょうか。

### けいはん医療生協のボランティアを見学して

ボランティアさんが各施設30人〜35人と多く、ボランティアさんとスタッフの交流も大事にされていると感じました。

専属のコーディネーターさんが配置され、利用者さんが気兼ねなく利用できる体制も確立されており、大変参考になり、学ぶことが多かった見学でした。【O・H】

「けいはんの取り組みに学ぶ」

### 支部の「地域と向き合う」問題と課題

○けいはん医療生協の見学をおえたいま、各支部に見学の報告を行い、各支部でどのような「問題と課題」があるのか、「地域のニーズ」は何なのかを把握する必要があります。

また、ボランティアだけでなく支部や組合員の組織化のなかで、担い手不足が「問題」となっている支部も多く、その「課題」をいかにして解決していくのかも、同時に考えていかなければいけないと思います。